

広木先生に学ぶ パート4

広木先生に学ぶとして、広木先生の講演抄の抜粋のそのまた抜粋をパート1からパート3まで書いてきました。パート4ではその総まとめとして、広木先生の「親が学ぶことの意味について」話していますが、これは抜粋しないで全文を載せたいと思います。

不登校の子どもの話をしていると分かることがあります。それは彼らがまるで自分の敵と味方を峻別するように、心を聞いてくれる人と聞く気がない人を敏感にかき分け、見分ける力が強くて、敏感なことです。だから例えば子どもから「お母さんちょっといい？これ買って欲しんだけど」と言ってもらえたら、言ってくれたという事実の価値を見逃さないでもらいたいのです。そして「どれが欲しいの？」と尋ねながら、「できたらどうしてそれが欲しいのか訳も教えてくれたら嬉しいんだけど・・・」と伝え、子どもが嫌がらなかつたら、子どもの気持ちを理解したいと思っていることもサウリと伝えてみて欲しいと思います。そうしているんな要求や願いもお母さんに話しても大丈夫だと思えるようになると、その変化に連れて、家の中の空気が変わって行くはずで、今までなかなか自分の部屋から出てこれなかった子が居間で自由に振る舞うようになったりすることもあります。それだけでうちの中の空気は大きく変わるのです。

親が学ぶことの意味は学校に戻す方法を知るためなどではなく、子どもの話を聞ける親に、あるいは子どもが話してみようと思ってもらえる親に変わるためであり、子どもの育ち直す力を信頼して待てる親になるためです。子どもが変わるだけでなく、親が変わり、親子関係が変わって、やがて子どもも変わっていくからです。その変化にいくら時間がかかたとしても子どもはやがて「もうそろそろ外に出ようかな」と言いながら、「ちょっと買い物に行ってくる」などと言って徐々に外に出ていくようになるのです。これが不登校の子どもが育ち直すということであり、苦しかった不登校を親の支えを得ながら克服していくということなのです。

そのために私たちが学んでいることを一言でいえば、それは「ケアの心を学ぶ、子どもを信じる心を学ぶ」ということになると思います。そして同時にケアの心を実践することによって心がけ、それを頭の中に置いて子どもとかがわるのです。私たち自身が能力主義の教育を受けてきたわけですからケアの心を学ぶ身につけるには時間がかかります。でも、できないことではないし、全国の親の会で多くの仲間がそれをやっていることに自信を持って、子どもに寄り添い支えることのできる親になって欲しいと思っています。話しています。

この広木先生のお話は、昨年、東京での講演をもとにまとめたものです。
これを読みながら改めて不登校のこと、親のこと、子どものことを考えてみました。
広木先生は、能力主義と管理主義はまさにコインの表と裏とっていますが、私も
同じように思っています。そして、その能力主義の序列化はますます強化されています。
テレビを見ても塾の宣伝で有名大学の合格率を競っています。それから幼児教育にも進出
しています。そして中学校では「隠れ校則」があると例示しています。例えば先生が質問し
たら生徒は「全員挙手」。休み時間の終る3分前に「3分前学習」とそれぞれのクラスで実
行されているから段階評価で全員していたら「オール5day1で1人でも守られなかったら「お前の
せいでうがもらえなかった内申書に響くじゃないかと、ツキになる」としています。これは
一例に過ぎないのかもしれないと思うのですが、大なり小なりどの学校にもある管理なの
ではと思うのです。今の学校はその能力主義と管理主義の真只中であり、子どもはその生きづ
らさを敏感に感じていると思うのです。それは子どもだけでなく、若先もまたこの状況
の中で教師を続けられるのかとやめていく教員も多く、川崎でも180名先生が足りず、担任の
先生がいない学級もあるのです。そんな学校の中で生きづらさを感じ、行けなくなる子
どもが増え続けています。そして最初の相談での親の質問は「学校に戻すにはどうしたら
いいですかです。それは親として正直な気持ちなのですが行けないという問題は子どもにあり、
それを「治す」ために、どう助言をし、治療していくかという対応です。学校へ戻すことが課
題の対応です。最近の新聞にスクールカウンセラーが足りないので増していかななくては
という記事がありました。スクールカウンセラーを増して、子どもに対応していけば、子どもが
学校へ戻れるようになるのでしょうか。そうは思えないのです。能力主義と管理主義の現在の
学校が変わらない限り、学校には子どもがたのしいと思える居場所はないと思うからです。
親が学ぶことの意味は学校へ戻す方法を知らなくてではなく、子どもの話を聞ける親に
あり、子どもが話してみようかと思えるような親に変われるかということです。子どもの
育ち直す力を信頼して待てる親になれるかどうかと広木先生も話していますが、私もそう思っ
ています。子ども育ち直しの名人なのです。

これからも皆さんと一緒に学んでいけたらと思っています。子どもの思い気持ちを
大切にケアの心で進んでいきたいと思います。

そして親の会で、皆さんの声や子どもの様子などさらに交流を深めていきましょ
う。みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

2023年8月 町内春雄